

市内179～181例目（県内255～257例目）の概要

令和3年1月29日公表

1月28日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに3名の方、市内179～181例目（県内255～257例目）となる感染者が確認されました。

年齢・性別につきましては、いずれも本人のご意向により公表を差し控えさせていただきます。

居住地及び発症日、症状につきましては、それぞれ配付資料のとおりです。

179及び180例目の方は、176例目の濃厚接触者として、昨日1月28日にPCR検査を行った結果、陽性が判明したものです。

179例目の方は、発症日2日前、1月19日以降の感染可能期間において、不特定多数への感染の恐れがあるような行動歴はなく、聞き取り調査により接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、1月7日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

180例目の方は、発症日2日前、1月18日以降の感染可能期間において、不特定の方への感染の恐れがあるような行動歴はなく、聞き取り調査等により立寄先での接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、1月6日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

181例目の方は、169例目の接触者として、昨日1月28日にPCR検査を行った結果、陽性が判明したものです。

無症状の方ですので検体採取日を発症日として捉え、2日前の1月25日以降を感染可能期間としています。

この間に出勤され、特定の方への接客の機会もある仕事に従事されていますが、勤務先では感染予防対策が徹底されており、不特定多数の方への感染の恐れはないと考えています。

現在のところ、接客に関わる濃厚接触者はなく、勤務先等の接触者は把握できています。

また、発症日2週間前、1月13日以降の調査期間において、県外への移動歴はありませんでした。

いずれの事案につきましても、今後の調査結果を踏まえ、必要に応じて幅広い検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

現在、179例目は鼻水の症状がありますが、軽症とのことです。

180及び181例目は、症状はないとのことです。

3名は、いずれも保健所の指導の下に自宅で待機し、感染症対策を講じた県内の医療機関に本日中に入院される予定です。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みにご協力いただきますようお願い申し上げます。

発熱・咳・鼻づまり・強い倦怠感など、風邪様の症状や花粉症のような症状は、新型コロナウイルス感染症との区別が難しいとされています。

このような体調不良時には、仕事や学校を休んでいただくことが、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。

また、自己判断せず、まずはかかりつけ医に事前に電話で相談のうえ受診いただく、検査を受けるなど、医師の指示に従っていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、あわせてお願いを申し上げます。